

インクルーシブ教育について考えるプレシンポジウムのご案内

「地域で学び、育ち、 ともに生きる社会とは」

参加費
無料

- ✓ 手話通訳あり ✓ 要約筆記あり ✓ 視覚障害のある方に配布資料のテキストデータ提供可

2022年、国連障害者権利条約の総括所見において、日本はインクルーシブ教育と脱施設化の推進を強く勧告されました。これを受け、日本弁護士連合会は2025年12月11日の人権擁護大会でインクルーシブ教育とインクルーシブ社会についてシンポジウムを開催します。

それに先駆け、新潟県弁護士会もプレシンポジウムを実施いたします。障害者権利条約は、締約国に対し、障害の有無を問わず、合理的配慮や必要な支援を受けながら、誰もがともに学ぶインクルーシブ教育を受ける権利を人権として保障することを求めています。単に同じ教室にいるだけの統合ではなく真のインクルーシブ教育を実現するためには、学校教育を根本から変えていく必要があります。障害のある子を分離せず、誰もが心地よく共に育つことができる学校を作るにはどうしたらいいか、インクルーシブ教育について一緒に考えてみませんか？

日時 **8/23 土** 13:00~16:00
(開場12:30)

参加方法 会場 または オンライン参加

視覚障害のある方向け
配布資料テキストデータ
の申込はこちらから



※申込締切：8月19日（火）／送付予定：8月20日（水）

会場 ※予約不要【定員】400名
新潟市民プラザ（NEXT21ビル6階）
〒951-8061 新潟市中央区西堀通6番町866番地



<第一部> 基調講演 「インクルーシブ教育って何だろう」



講師 **佐藤 聡 氏**

- ・ DPI日本会議事務局長
- ・ 日本障害フォーラム（JDF）幹事会議長
- ・ 国土交通省移動等円滑化評価会議委員

1967年 新潟県南魚沼市生まれ。9歳で障害をもち（車いすユーザー）、小4から中2まではまぐみ学園で生活する。その後は地元の普通校大巻中学校に転校し、六日町高校を卒業。関西学院大学で自立障害者に出会い、自立生活運動に携わる。1991年からメインストリーム協会で、重度障害者の自立支援、交通バリアフリー運動、介助制度づくりに取り組む。2014年からDPI日本会議事務局長となり、権利擁護、バリアフリーの推進等に取り組む。

オンライン ※要事前申込
Zoomによるウェビナー

申込方法 ※申込締切：8月19日（火）

オンライン参加をご希望される場合は、下記URLまたはQRコードからお申込みください。

<https://niigata-bengo.or.jp/info/example.html>

※ 開催日前日までに新潟県弁護士会よりお申込みいただいたメールアドレス宛に視聴URLをご案内いたします。



<第二部> パネルディスカッション

[パネリスト]

- ・ 佐藤 聡 氏（DPI日本会議事務局長）
- ・ 角屋 香里 氏
（十日町市立十日町小学校教員・通級指導教室担当）
- ・ 障害のあるお子さんをもつ保護者

[コーディネーター]

- ・ 弁護士 黒岩 海映
（新潟県弁護士会子どもの権利委員会委員）



【お問合せ】新潟県弁護士会事務局

TEL：025-222-5533 <https://niigata-bengo.or.jp/>

<主催> 新潟県弁護士会 <共催> 日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会（予定）